

第 3 章

活動案とポスター



1日目:10月8日(木) 10:20~12:00 (100分)			
活動1 85分	目的地に行こう! 地図を見たり道を尋ねて、目的地に行く	1 学習者(2~3人)とスタッフ(1人)のグループで街に出かける。 2 地図で現在地と目的地を確認する。 3 通行人や店員などに話しかけ、道を尋ねる。 4 関心のあることを尋ねて写真を撮る。	・タウンマップ ・目的地を示した指示書 ・デジタルカメラ ・スタッフ用指示書
活動2 15分	記憶に残そう! 今日の行動をふりかえり、グループで共有する	1 今日の活動を思い出してグループで話す。 2 ワークシートに記入する。	・ふりかえりシート ・スタッフ用ふりかえりシート
2日目:10月15日(木) 10:30~12:00 (90分)			
活動3 35分	体験を言葉にしよう! 1日目の活動を思い出し、他のグループと共有する	1 1日目の写真をスライドショーで見る。 ・自分の活動を思い出すと共に、写真ダイジェストを交換して他のグループの活動を知る。 2 写真を見ながら自分の体験を言葉にする。 3 他のグループに自分の体験を話し、お互いに質問し合う。	プロジェクター ・スライドショー ・パソコン ・写真ダイジェスト
活動4 45分	体験をみんなに話そう! 全員の前で発表する	1 みんなに話したいテーマを決めて、体験を文章にする。 2 発表の練習をする。 3 全員の前で発表する。 4 他の人の発表を聞く。	・ワークシート ・プロジェクター ・各グループの写真
ふりかえり 10分	全体をふりかえる	・2日間の活動をふりかえり、グループメンバーやスタッフと話す。 ・ワークシートに感想を記入する	・ワークシート

いろは日本語の会

テーマ 目的地に行こう!

- 目標 ① 道をたずねることができる。
② 地図を見ることができる。

参加者 学習者 (1日目) 14名 (2日目) 12名 ボラン (1日目) 11名 (2日目) 11名

私たちの教室はこんなところ

場所: 名古屋市市民活動推進センター
(中区・ナディアパーク6F)

日時: 毎週木曜日 10:30~12:00

人数: 学習者約50名
ボランティア約30名

特徴: レベルは初級
『みんなの日本語』をベース
レベル別に8グループ

1日目 地図を片手に目的地を目指す!

(100分)

目的地を地図で
確認して、出発~!!

道をたくさん
聞くことができました!

おくじょうの
かんらんしゃは
どこですか?

目的地に到着

三越のビル
屋上の観覧車

クリスタル広場

オアシス21

全グループが
目的地に行けました😊

ふりがえり

- どこへ行きましたか。
- 何をしましたか。
- 何を話しましたか。
- これを見つけました。

2日目 ふりがえり~自分の体験を言葉にしてみんなに話す~

(90分)

活動の流れ

- ① プロジェクターで先週の活動を思い出し、共有。
- ② グループで話す。
- ③ 隣のグループと話す。質問しあう。
- ④ 話すテーマ決め。スピーチ内容考える。
- ⑤ 体験をみんなに話す。→右へ
- ⑥ ふりがえり。

先週の活動が
素材です!

オアシス21でたくさんの
ひとがならんでいました。
なぜならんでいるのか?
きました。おかしのくりさんと
をかうためにならんでいました。

ノリタケのかんばんを
みつけました。スリランカ
にもノリタケがあります。
なつかしいです。

オアシス21で
のうぎょうこうこうの
がくせいとはなしました。

みんな
自分の体験を
しっかり話すことが

いちばんさいしょに
きいたひとはわるい
かんじだったです。
ばしょはおしえてくれな
かった。かえりかた。
にはんめのひとは
やさしかった。すぐおしえて
くれた。かえらとらいた
のでうれしかった。

せんしゅうはいっぱい
あるいた。つかれた。でもせんせい
やさしいから。あるいてるときは
いっぱいはなした。だから、じかん
わからなかった。つかれたでも
たのしかったです。

1日目:10月13日(火) 13:30~15:00 (90分)			
活動1 60分	日本の自転車の交通ルールを知る 自転車の交通ルールに関心を持つ	1.イラストや道路標識図を使って「自転車」「歩行者」「車道」「歩道」「横断歩道」「二人乗り」などの言葉の説明する。 2.“知っていますか?”と道路標識図を見せて意味を確認する。	○各国語対応イラスト付き資料 ○パンフレット(自転車安全教室) ○ワークシート(DVDに出てくる言葉)
活動2 30分	こんな時はどうするの? ぶりかえり	おまわりさんに聞こう!	
2日目:10月20日(火) 13:30~15:00 (90分)			
活動3 15分	協力者紹介/学習者自己紹介 協力者紹介 学習者自己紹介	学習者の母語で「こんにちは」名前と国籍	○学習者用名前シール ○ボランティア名札
活動4 60分	交通課警察官による講習を受ける 正しい自転車の交通ルールの理解	1.自転車のルールの解説を聞く。 2.DVDを見る。 3.実際の事故と賠償裁判の事例を聞く。	○5か国語対応のチラシ(警察署) ○DVD(警察署) ○プロジェクター(AIA)
活動5 15分	おまわりさんに聞きました内容の確認・ぶりかえり	1.学習者からの質問に答える。 2.ワークシートを見ながらボランティアと内容確認する。	○ワークシート
3日目:10月27日(火) 13:30~15:00 (90分)			
活動6 90分	あなたの国ではどうですか? 安全な自転車走行をめざす	1 二日目のワークシートを見ながらぶりかえりシートを作成する。 2 出身国との違いを知る。 3 安全な自転車走行について各家庭でも話をするよう促す。	○二日目記入のワークシート ○ぶりかえりシート



自転車の交通ルールを知ろう



目標

2015年6月1日から施行された道路交通法の改正で、自転車の交通ルール違反者への罰が厳格化されました。学習者の多くが自転車を利用しています。正しい交通ルールを知り、自転車を安全に乗るためにどうしたらいいか一緒に考えます。



あいち国際プラザにほん語教室 火曜日クラス

場所: あいち国際プラザ 名古屋市中区三の丸2-6-1
日時: 火曜日 13:30~15:00
学習者: 名古屋市及びその近郊で生活する外国人
中国、韓国、台湾、ベトナム、フィリピン、
ミャンマー、タイ、アメリカ

活動1 (1日目) 90分

資料を使って事前学習をしました



- 1) 各国語対応資料
「新しい自転車のルールを守りましょう!」
- 2) イラスト付きパンフレット
「交通安全教室」
- 3) ワークシート
二日目の活動で使うDVDに出てくる言葉

Q1: 「さすべえ」っていいの?
Q2: 横断歩道を渡る時
自転車で来たまま渡ってもいいの?
Q3: 自転車で道路の右側? 左側?



活動2 (2日目) 90分

中警察交通課による出張講座です

- 1) 学習者は自己紹介をしました
母語で「こんにちは」そして名前
- 2) DVD (16分) 自転車で走った少年が急いでサッカーの試合に行く途中、歩行者と事故を起こすという内容
- 3) 警察官から実際の事故と賠償裁判の事例の説明を聞きました。
- 4) 学習者からの質問に答えてもらいました



Q1: 損害賠償金の違いは
どこから来るの?
Q2: アルコールは絶対ダメなの?
Q3: 「さすべえ」は違反なの?

- 《学習者のひとこと》
- ★ 自転車に乗る時は左側。
 - ★ 夜はライトをつける。
 - ★ メガネをかけて飲酒体験をした。飲酒後の危険がよくわかった。
 - ★ 損害賠償金が高い。
 - ★ 二人乗りはダメ。
 - ★ ベルは鳴らさない。
 - ★ 規則をみんなが守ったら事故にならない。
 - ★ 今まで知らなかったことを聞いて参考になった。
 - ★ これからも気を付ける。
 - ★ けいさつさん、やさしい。

比べてみました

活動3 (3日目) 90分

あなたの国ではどうですか

- 1) 学習者に聞いてみました
「あなたの国ではどうですか」
- 2) 「ありがとう」を伝えましょう
学習者に母国語、日本語で書いてもらいました。



《学習者からのありがとう》

- ▶ 日本語がわからない学習者にも優しい言葉で説明してくれてありがとう。(韓国 男性)
- ▶ ビデオを見てルールがわかって安心しました。(フィリピン 女性)
- ▶ 先週の交通規則の講義でさらに多くの交通規則を知りました。私たちにとって日本でさらに便利な生活になって不便が減ります。(中国 女性)
- ▶ 日本に来てから自転車ルールがあるなんてびっくりしました。でもこれから日本のルールを必ず守ります。(マレーシア 男性)
- ▶ 自転車は自分にとって便利なものです。これからはより安全に生活できます。とても有意義でした。(中国 女)

《ボランティアの感想》

- テーマが大変身近な問題だったので学習者もボランティアも熱心に取り組むことができた。
- 実際に警察の方の話を聞くことができたので、学習者の印象に残る日本語学習になったと思う。
- 交通ルールは案外難しかった。
- 自転車の交通ルールをもう一度見直すことができた。
- 学習者は教室以外の日本語に接することができた。
- 来日して間もない学習者には映像の力が大きかった。

	日本	中国	台湾	フィリピン	ミャンマー	ベトナム	マレーシア
車道左側通行	左	右	右	右	右	右	左
二人乗り	X	O	O	O	X	X	X
夜間走行	X	O	O	O	X	O	X
傘さし運転	X	O	O	O	X	O	X
携帯電話	X	わからない	O	わからない	X	O	X
イヤホン	X	わからない	X	O	X	X	X
飲酒運転	X	O	O	O	X	O	X
飲酒運転	X	O	O	O	X	O	X
飲酒運転	X	X	X	O	X	O	X
飲酒運転	X	X	X	わからない	O	O	X
13歳以下ヘルメット着用	O	X	X	X	X	O	X

1日目:9月6日(日) 10:00~11:30(90分)			
活動1 60分	チラシについて話し合う	1 学習者の国のチラシと比較する。 2 物の価格、価格の比較、興味のある物について話し合う。 3 チラシからイメージして購入をシミュレーションする。 4 自分の生活にあった物を正しく購入できるかどうか検討し、ほしい物を2,3決める。それをなぜ選んだのか話し合う。 5 チラシの中のわからない言葉や難しい言葉を理解する。	折り込みチラシ
ふりかえり 30分	みんなで今日学習したことを話し合う。	チラシは見たことはあるが今まであまり利用してなかった。	ふりかえりシート
2日目:9月20日(日) 10:00~11:30(90分)			
活動2 10分	チラシを理解する	1 ほしい物を2,3決め、それを選んだ理由を話し合う。 2 欲しい物のチラシを選び、チラシの中の語句について話し合う。 3 日本語独特の表現(タイムサービス、特価、限定、限りなど)を理解する。	○擬似店を配置 ○食品スーパー ドラッグストア 電化ストア ホームセンター 服飾店などのチラシを置く
活動3 25分	チラシを使って尋ね、購入することができる	1 自分の求めている物がその店にあるかどうかを知る。 2 店員(ボランティア)に商品について尋ねる。日本語でそれを表現できるかどうか。 3 ほしい物を擬似お金で購入する。	○擬似日本円 ○擬似店舗の立て札 ○店舗ごとにチラシを配置
活動4 25分	購入した物を説明することができる	1 ほしい物が購入できたかどうかボランティアと話し合う。 2 購入した物について話し合う。 3 自国の商品との違いについて話し合う 購入した物についてきちんと説明できるかどうか。	
活動5 20分	体験したことを伝えることができる	1 今日の学習で体験したことを伝え合う。	
ふりかえり 10分	みんなで伝え合う	わからない言葉や難しい言葉はなかったかなど、問題をボランティアと話し合い、ふりかえりシートに記入する。	ふりかえりシート
3日目:9月27日(日) 10:00~11:30(90分)			
ふりかえり 60分	できたことを伝える	みんなで伝え合う 1 チラシを理解することができたか話し合う。 2 チラシを使って尋ねることができたか話し合う。 3 体験を伝え合うことができたか話し合う。	ふりかえりシート

〈買い物に行きましょう〉～チラシを理解し ほしい物が購入できる～

愛西市日本語教室おしゃべりひろば

〈場所〉愛西市文化会館
第1.3.4日曜日 10:00~11:30(年間30回)

〈学習者の国籍〉中国・インドネシア・タイ・モンゴル

〈テーマ決めの経緯〉

生活する上で日常生活用品を
購入できるようになることは、とても
重要でありチラシという情報を活用し、
スーパー・電化ストア・ドラッグストアなどで、
より品質の良い、価格を考慮した買い物か
出来るようにサポートしたい。



〈1回目〉 9/6 (60分)

チラシを準備し、チラシを見ながら
物の価格・価格の比較・興味のある
ものについて話し合い、わからない
言葉などを理解してもらう。



〈2回目〉 9/20

～店づくり～

- ★教室で机と立て札を配置し疑似店を作る。
- ★1回目で学習者の知る店が幅広かったため
今回は色々な店舗のチラシを調達した。



～実践スタート～ (90分)



- ★それぞれ気になるチラシを取りに行く。



- ★チラシを見て気になる事やわからない事を
ボランティアと話し合う。
- ★疑似店にチラシと紙のお金を持って買い物に行く。
- ★ボランティアが店員になり学習者が商品について
質問したり購入したりした。



- ★一人一人がスーパー・ドラッグストア・電化ストア
いくつものチラシを手にしリアリティあふれる
時間を過ごした。



〈工夫した事〉

チラシの欲しい物を指さして
「コレ下さい」で終わるのではなく
店員(ボランティア)が「～ですね」と商品の
名前を言ったり、何々ですか、サイズは
何ですかと問いかけ沢山会話が
出来るようにした。

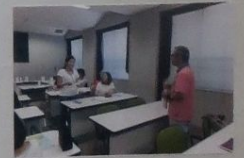
〈3回目〉～ふりかえり～ 9/27 (60分)

ふりかえりシートを使い体験を終えてわからなかった言葉や
難しかった事、知らなかったが体験を通してわかった事などを
ボランティアと話し合い学習者に発表してもらう。



〈学習者がわからなかった言葉・難しかった事〉

ブロードバンド・タイムサービス・税込み
～限り・限定・超目玉・まとめ買い・抽選
物の教え方・日本円の支払い方



〈参加者の声〉

- ★学習のねらい毎に時間を
決めたのがよかった。
- ★もう少し疑似店にリアルさが
あってもよい。
- ★楽しかっただけで終わらせず
今日の体験が次の教室運営に
つながるとよい。

〈担当者の所感〉

- ★体験に参加する学習者の数が
多く活気があった。
- ★学習者から、体験により商品の
使い方を知り実際に購入した事を
聞き学習者に得るものがあたと
実感できた。

〈今後の課題〉

- ★学習者には良くわかるやさしい日本語で。
- ★学習者の発話を促す言葉がけを。
- ★身近な生活にすぐ使える日本語を。

1日目:9月25日(金) 19:00~20:30 (90分)			
活動1 45分	買い物の意味	いつもどこで買い物をするか話し合う。 日本ではどこで買うか 自国ではどこで買うか	日用品 文房具等 実物提示
活動2 45分	優良品の見つけ方	今使っている文房具をどこで買ったか 話し合う。 学習者と一緒に買い物に行けないの で、各自、次回までに、ノート・ボールペ ンの値段を調べてくる。	
2日目:10月2日(金) 19:00~20:30 (90分)			
活動3 45分	見学してきた文具売り 場の発表	見学してきた文具について話し合う。 文具を見つける時間は? すぐ見つけることができたか? 値段は?	前回の実物
活動4 45分	自国の売り場の発表	自国の文具売り場と比べ、類似点・相 違点を話し合う。	

買いものをしよう

あいち国際プラザ
日本語教室 金夜クラス

教室はこんなところ

場所: あいち国際プラザ

日時: 金曜日夜クラス 午後7:00~8:30

1回目

活動1 これは何?

- ① サンプルを見て、使用目的によって使いわけることを知る。
- ② 手紙を出すとき、郵便番号を書くことを知る。

活動2 優良品の見つけ方

- ① 100円ショップで色々なものが買える。
- ② 安いものと安物はちがうことを知る。



現在 5人が参加

2回目

活動1 お店の様子発表

- ・ドンキホーテは、品物がたくさんならんでいた。
- ・タブレットを買った。国では1.5倍します。店を3軒まわって、ビッグカメラで買いました。

活動2 自国の店の様子発表

- ・似ている所もあるし、似てない所もある。
- ・国は品物が少ない。



ふりかえり

- ・買いものをしようの学習は役に立った。
- ・積極的に買いものをしたい。
- ・おもしろかった。
- ・おもしろかった。教室全体ですることにはできないか。
- ・おもしろかった。

1日目: 9月19日(土) 19:00~20:30 (90分)			
活動1 20分	チラシを見て、欲しい物を話しましょう チラシの役割がわかる	①色々なチラシを見て、チラシについて知っていることを話し合う。 ②母国のチラシについて話し合う。	・スーパー、ホームセンター、ドラッグストアなどのチラシ ・ワークシート
活動2 20分	チラシを見て、欲しい物を話しましょう チラシの中から欲しい物を選び理由を話すことができる	①好きなチラシを見ながら欲しい物を選ぶ。 ②欲しい物と選んだ理由を話す。 ③相手をかえて話す。	・色々なチラシ ・付箋 ・ワークシート
活動3 20分	買う物を決めましょう チラシを使って、買う物を決めることができる	①買う物をチラシの中からさがし、付箋に書く。 ②チラシの中にないが、買いたい物を付箋に書く。 ③買い物リストを作る。 ④買い物の時に、お店の人に質問することを話し合う。	・買い物に行くお店のチラシ ・ワークシート
活動4 15分	買い物の時に質問したり、お願いすることを練習しましょう 分からないことを尋ねることができる	①学習者が客、ボランティアが店員になって、分からないことを質問する練習をする。 ②相手をかえて練習する。	・ロールプレイ指示カード ・店内商品配置図 ・領収書見本
活動5 15分	ふりかえり	今日の学習で、わかったこと、わからなかったこと、できたこと、できなかったことをふり返りシートに記入し発表する。	○ ふり返りシート
2日目: 9月20日(日) 10:00~11:30 (90分)			
活動6 60分	お店で買い物しましょう チラシと買い物リストを使って買い物ができる	①買い物の分担を決める。 ②お店の人にわからないことを質問する。 ③お店に売っているもので、お得なものをさがす。 ④欲しいものを買う。 ⑤領収証を書いてもらう。	・ 買い物リスト ・ スギ薬局のチラシ
活動7 30分	ふりかえり	①買った物を紹介する。 ②お店の人と話したことを発表する。 ③買い物で、お得だったことを発表する。 ④わかったこと、わからなかったこと、できたこと、できなかったことをふり返りシートに記入する。 ⑤買い物リストに、買った値段を記入する。	・ ふり返りシート
3日目: 9月27日(日) 13:00~15:00 (120分)			
活動8 120分	刈谷市グローバルカレッジと日本語教室合同バーベキュー会に参加しよう 一部の材料を準備したBBQ会に参加することで協働の意識を高めることができる	①日本人と一緒に、火おこしや材料を準備をした後グループに分かれバーベキューをする。 ②食べ終わった後は、みんなで片づけをする。	・ 参加申込用紙 ・ 名札
4日目: 10月24日(土) 19:00~20:30 (90分)			
活動9 90分	ふりかえり	①1日目から3日目の活動を、写真を見ながら、どんなことをしたか、どんなことを話したかふりかえる。 ②写真を台紙に並べて、その時の活動を付箋に書く。	・ 1日目から3日に参加した時の写真 ・ 写真添付用台紙と付箋
活動10	お礼状を書こう 協力者への御礼ができる	2日目の協力店舗へお礼の寄せ書きをする。	・ 協力店舗へのお礼用色紙

テーマ：チラシを見て買物をしよう！

KIFAV
日本語支援グループ

教室の概要

場所：刈谷市国際交流プラザ 日時：木・日 10:00~11:30 土 19:00~20:30
活動力：「みんなの日本語」を主テキストにした日本語学習、学習者とボランティアとの交流イベント

- [目標] チラシの見方がわかり欲しい物を事前に調べて買物することができる
[テーマ決め経緯] 事前情報を得たり、お店の人に尋ねながら買物した経験がないバーベキュー会があり、その時に必要なものの買い出しを実習の場にできる
[日程] 9/19.20.27 10/24 [参加者] タイ・フィリピン・ガゼル・バトナム人の研修生・生活者

■活動力1：チラシについて知る

チラシについて知っていることを話し合った



「日本でチラシを見たことはありません」
「チラシで安いものみませう」

■活動力2：チラシから情報を得る

欲しいものを選んで理由を説明した



「お得なことは“割引”です」
「毎日使いますから」

■活動力3：買う物を決める

バーベキューに必要なものを探して決めた



買物リスト
「火をつけます。チーブ？ジュル？何ですか？」
「着火剤と言います」

■活動力4：お店での買物の練習をする

わからないことを尋ねる会話練習をした



ロールプレイ
「いつもはいくらですか？」
「領収証がほしいです」

■活動力5：お店で買物をする

お店の人に質問しながら欲しいものを買って、レジで領収証を書いてもらった



「1本78円、6本で380円 お得でした」
「おかしになります??？」
「足がはれぼったい」

■活動力6：買ったものを使う

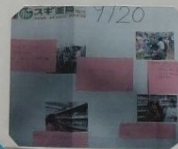
自分たちの買ったものでバーベキューに参加した



「フィリピンのバーベキューはエビが多いです」
「バトナムはニンニクも焼く」
「味付けはタイはもっと辛い」
「ビールがほいいです」

■活動力7：活動力をふりかえる

活動の写真や成果物を見ながらどんな日本語を使ったかを書きだして話した
協力してくれたお店へお礼の寄せ書きを作った



寄せ書き
「お店の人は優しいです」
「安い水を教えてくれてありがとうございます」
「日本語の練習しました」

「くすりを紹介してくれました。足がなりました」
「楽しいことがいっぱいでした」
「日本人とたくさん話しました」



《コーディネーター・ボランティアの感想》

学習者にとって日々の生活に直結する良い活動である。継続しながら活動テーマを増やしていく。実践の場が重要であるが、地域の協力を得るには、協会や市役所の協力体制も必要である。負担感の少ない工夫により、実践的な日本語を学べる教室運営に役立てていきたい。

1日目: 10月10日(土) 10:30~12:00 (90分)			
活動1 25分	日本の銀行ATMを使ったことがありますか? 銀行ATMについて基本知識を知る・他の人に日本語で説明できる	1 日本の銀行ATMを使ったことがあるか? 銀行口座をもっているか?学習者から挙手・発表してもらう 2 日本のATMをどのように活用しているのかを学習者に説明してもらう	・スライド ・ワークシート
活動2 65分	銀行の方の話を聞こう 銀行のATM活用方法について知る	1 セブン銀行の方から、ATMの使い方や活用方法について説明してもらう 2 分からなかった言葉をグループで話合う 3 どんな言葉がわからなかったか、全体で発表する 4 できたことや難しかったことをワークシートに記入し、伝え合う	・銀行パンフレット
2日目: 10月17日(土) 10:30~12:00 (90分)			
活動3 90分	銀行へ行ってみよう ATMの操作方法を知る・日本語で操作できる	1 前回でできた言葉について復習する 2 銀行へ行き、銀行の方の話をきく 3 実際にATMを使ってみる 4 銀行の方へ質問する 5 できたことや難しかったことをワークシートに記入し、伝え合う	・ワークシート
ふりかえり 90分		1 前回の内容をふりかえる 2 各グループで、ATMの使い方・活用方法のテーマを割り振り(海外送金・お金の出し方・手数料について等)、使い方を模造紙にまとめ、発表する 3 質疑応答をする 4 今後、銀行以外の活動で「もっとこんなことがしたい」をワークシートに記入し、グループで伝え合う	・ワークシート ・模造紙

日本の銀行のATMをうまく使おう

栄セブン銀行に行きました



WITH DRAWAL
お引き出し

BALANCE INQUIRY
残高照会

DEPOSIT
お預け入れ

TRANSFER
通帳記入・繰越

お振り込み

税金 各種
料金振込

MY CARD
マイカード

CREDIT CARD
クレジットカード

カードの
暗証番号変更

宝くじ購入



お金が
でてきた!



日本語



中国語



英語

1日目:10月2日(金) 13:30~15:00(90分)			
活動1 65分	ハローワークってこんなところ ハローワークがどんな所かイメージをつかむ	1 ハローワークの説明(30分)鵜飼司郎氏 2 ワークシートに記入 3 学習者発表 *今までにどんな仕事をしたか *今仕事に就いているか *資格の有無 *どんな仕事が見たいか 4 職員の方との会話挨拶、マナー等確認	・ホワイトボード ・ハローワーク説明用レジュメ ・ワークシート (案内ちらし・写真)
活動2 20分	どうやって行くの 公共施設や交通手段の利用方法を知る	1 実際に行く方法 2 所要時間を確認 *AIA集合組 現地集合組	・市内地図
ふりかえり	ふりかえり	次週までの課題を把握する 1 初めて知ったこと 2 興味をもったこと	・ふりかえりシート
2日目:10月9日(金) 13:30(現地13:45)~15:10(100分)			
活動3 30分	オリヴェイラさんから説明 ハローワークを実際に利用してみる	1 労働資格 2 外国語の求人ファイル、ホームページにも求人票有り 3 日本語能力の求められる仕事は日本語での表記 4 職業訓練 5 希望の仕事が見つかったら窓口で相談 6 ファイルなどの利用方法、PC検索の確認	・求人ファイル ・各種パンフレット ・ワークシート
活動4 30分	パソコンを使ってホームページの検索をしてみよう パソコンで仕事を探す	1 必要事項の記入 2 希望に近い仕事を見つけることができるか	・パソコン ・ワークシート
ふりかえり 10分	ハローワークを利用した感想を話し合い、ふりかえりシートに記入する	1 わかったこと 2 良かったこと 3 出来た事 4 難しかったこと	・ふりかえりシート
3日目:10月16日(金) 13:30~15:00(90分)			
ふりかえり1 45分	2回の活動に参加した感想 第1,2回目のふりかえり	1 ふりかえりシートに書き込む 2 自分の言葉で発表する	・ワークシート ・ふりかえりシート ・1,2回目の写真 ・ホワイトボード
ふりかえり2 30分	礼状を書く オリヴェイラさんにお礼状を書く	1 好きな一筆箋を選ぶ 2 分からない漢字を積極的に調べる	・一筆箋 ・国語辞典
ふりかえり3	活動に参加した感想をクラスで発表 クラス全員の前で感想発表	1 ハローワークに行く前は どう思ったか 2 行ってみて どう思ったか 3 これから どうしたいか *要領良く発表するキーセンテンスを頭に入れて発表する	・ふりかえりシート ・写真

ハローワークへ 行ってみよう !!

目標 ハローワークへ行って仕事を探せる様にする

AIA金曜午後クラスは こんなところ

場所 AIA 2階 研修室 / 日時 毎週金曜日 午後1:30~3:00

学習者 *中国、フィリピン、アメリカ、ロシア、韓国、台湾
ミャンマー、コロンビア、スペイン、タイ

*配偶者が日本人、観光ビザで来日中、すでに職を持っている人など様々な背景の学習者がいるので、入門から上級まで学習者の希望に沿って学習をしている。

「なにかした 仕事、日本人の様に話したい
漢字、読み書き・・・」

教室の売りは?

学習後のリラックス☺Tea Time☺
日本語・母語交流「小さな社交場」



テーマを決めました

仕事をしたいという学習者もいるという教室の学習者も多く、仲間と情報交換をしているようだから一歩進んで～

“ハローワークで仕事をさがそう”



1日目 ハローワークって どんな所?

2015. 10.2(金) 13:30~15:00 90分 場所 :AIA

学習者 6名(台湾、ミャンマー、中国、コロンビア、スペイン)
背景・・・日本人配偶者、日本で仕事、日本語教師



みんなメモをとり
真剣です !

講師からハローワークの説明をしてもらいました。

職探し、職業訓練、 (* 講師・・・教室ボランティア)
失業保険・・・何と、外国人窓口があるところも!

職
種って?

詳しくつかめた!

次回ハローワークに行くために

会話、挨拶、マナーなど確認。
地図で 交通手段・・・現地集合です。



2日目 ハローワークはこんなところ・・・でした。

2015. 10.9(金) 13:30~15:00 90分
場所 名古屋外国人雇用サービスセンター



職員・交流コーディネーターの
オリヴェイラさんから説明

- ★労働資格
- ★求人ファイル(〇〇言語有)
- ★HPIにも求人票有
- ★職業訓練が受けられる
など

- ←実際にPCを使ってみました
- ←日本語入力しています

ハローワークを利用した感想を振り返りシートに書いてみました。

自信が持てた
ハローワークのことが良くわかった
などなど

不安が解消
みんな睡れやが～



3日目 オリヴェイラの説明でハローワークのことが良くわかった

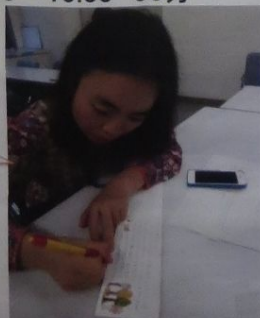
「お礼状を書こう!!」

2015. 10.16(金) 13:30~15:00 90分
場所 AIA

一筆箋に～～
辞書を使い

12日目の振り返りシートを完成させて・・・
さあ、これから

活動に参加した感想の発表です。



クラス全員の前で発表

- ♡ハローワークに行く前は
- ♡ハローワークに行って知ったこと
- ♡行ってよかった→みんなに勧めたい
- ♡一人でも行ける自信がついた

担当者からのコメント

・回を重ねることに興味がわき
ハローワークで仕事見つけたい!

・教室での発表は・・・
本人の自信につながり、
他の学習者たちにも共有でき、

今後への取組につながっていくように感じた。



1日目:10月25日(日) 10:00~11:45(105分)			
活動1 50分	医師の話を聴こう 過去の経験から体の各名称を確認し、日本で病気になった時に備える	1 病気になった時の症状を伝える。 2 救急の時の医療機関と電話番号の確認。 3 医師から日本で病気になった時の注意事項を聞く。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体の部位の絵 ・ ワークシート ・ ポストイット ・ マジック
活動2 40分	休日診療所へ行ってみよう 医療現場を見学する	1 診察申込書の書き方について 2 診療の流れについて	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワークシート ・ 診察申込書
活動3 15分	休日診療所ってどんなところ?見学したことを話し合う	医療現場で見聞きしたことを振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 診察申込書 ・ ワークシート
2日目:11月8日(日) 10:00~11:30(90分)			
活動4 45分	ふりかえり	1 前回の写真を見ながら、どんな会話をしたのか振り返る。 2 疑問に感じたことを話して、日本での医療をより身近なものと感じるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 写真 (医療現場を見学したとき) ・ パソコン ・ ワークシート
45分	問診票の記載事項を理解する。	1 実際に診察申込書を記入する。 2 申込書の言葉について理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 診察申込書
3日目:12月13日(日) 10:00~11:30(90分)			
活動5 90分	近くの病院について調べよう。 自分の近くの医療機関を知り、伝えることができる	1 刈谷市医療マップ・近隣市町村の医療マップで、医療機関を調べる。 2 自分が知り得た情報を伝える。 3 「無料医療相談会」の説明を聞く。	<ul style="list-style-type: none"> ・ パソコン



「病気になったら

どうしますか？」



私たちの教室はこんなところ

場所：刈谷市国際プラザ

日時：木曜日 10：00～11：30

土曜日 19：00～20：30

日曜日 10：00～11：30



K I F A V

学習者の国籍

中国・台湾・ベトナム・ロシア

インドネシア・タイ・ネパール他

学習者のレベル

入門からN1まで

1日目

☆活動1



自分の国でまたは日本に来てから、病気になった経験を通して、体の各部位の名称を知ることが出来ました。

☆活動2



刈谷医師会休日診療所を訪問し、病院に来てからの流れや、診察申込書などについて話を聞きました。

☆活動3



見てきたことを話し合いました。日本の病院の清潔さやお医者さんのやさしさに驚かされました。

2日目



3日目

☆活動4



病院でのスライドを見ながら、分かったことや疑問に思ったことを話し合いました。他の市の人も行けるのかな？

☆活動5



診察申込書を実際に書いて、分かったことを話しました。麻疹・水疱瘡などが分かりました。

☆活動6



刈谷市国際交流協会主催の「健康相談会」の話を聞きました。レントゲンの意味が分かりました。

☆活動7



病院ナビで自分の家の近くにどんな病院があるか調べました。漢方医学と西洋医学についても話しました。

実践を終えて

言葉が思うように話せない国でも、学習者にとって病院に行くことは避けて通れないことだが、実際に病院に行ってみて、日本の病院の清潔さや病院の方々のやさしさに触れて、病院に行くハードルが下がったようです。今回は自分の思いだけでテーマを選んだが、今後は学習者のニーズを考えて活動していきたいと思います。

1日目:9月26日(土) 14:15~15:30 (75分)			
活動1 15分	地震とは? 地震について知る。	1地震とはどういうものを、学習者に説明する。 2地震の時の初期行動について説明する。	・教室の黒板に地震についての言葉や情報を書く
活動2 15分 45分	身の守りかた 地震が来たときの避難の体験。 まとめとふりかえり	1机の下に入り、体や頭部を守る。かばんや本などで、頭を覆う(各自で安全確保) 2揺れが収まったら、ボランティアは建物の安全な場所に学習者を避難誘導する。(プラザロビーへ移動) 3教室に戻って、各グループで地震についての感想や心構えなどを話す。	・ボランティアは避難誘導と学習者の人数確認・リーダーに報告することを、事前打合わせする
2日目:10月31日(土) 14:15~15:30 (75分)			
活動3 15分	なぜ防災用品が必要か? 地震が来たとき、なぜ防災用品が必要かを学ぶ。	1.地震が起こった後、ライフラインが破壊された社会の様子を学習者に想像させる。 2.自分の生活には、どんなものが必要かを気づかせる。	・防災用品をボランティアが持ち寄る
活動4 30分	防災用品とは? 防災用品にはどんなものがあるかを学ぶ。	1使い方などを織り交ぜて説明する。 2グループに分かれて、話し合う。 3非常食を試食する。	
ふりかえり 45分	まとめ ふりかえり	1学習者1人1人が、どうしたら命が守れるかということを考えるきっかけとなった。 2防災用品の必要性と、学習者個々に取って必要な物は何かを考えてもらう機会となった。	

土曜日午後クラス

地震時の緊急対応

(命の安全確保)の体験

身体を守る!!



- ① 自分の命を守る
- ② 家族の命を守る
- ③ 隣人を助ける



あ、地震だ!!

命さえあれば何事もできる!!!!!!

頭を守る!!
身近にある何かで



何が入っているか興味津々
日本人はどんな物を
用意しているんだろう?



備えよ!!



物の準備・心の準備



自分にとって何が大事な物?!
一人一人違っていい!!



振り返えり




自分達でも出来そう!!と笑顔。
やっ

1日目: 9月30日 (水) 10:00~10:30 (30分)			
活動2 25分	世界にどんな自然災害があるか、状況をイメージする	1.前の時間にわかったことを話す 2.災害の写真を見て、感じたことや考えたことを発表する 3.実際に経験した災害があれば話す	・台風関連の写真(衛星写真・台風予報円・土砂崩れ・暴風等) ・ホワイトボード
ふりかえり 5分	いろいろな自然災害をイメージする ふりかえりをする		・自然災害の写真(干ばつ・噴火・火山灰など) ・ふりかえりシート
2日目 10月7日 (水) 10:00~10:30 (30分)			
活動3 30分	大きな地震ではどんなことが起こるか考える 大きな地震の怖さをイメージする	1 前回のふりかえり 2 地震の後に起きること *家事・津波・倒壊 3 地震が起きてても、ちゃんと復興していくことを確認する 4 復興させるには、自分が元気に生きていなければならないことを確認する	台風・災害関連の写真(前回ふりかえり用) ホワイトボード 1995.1.17 2011.03.11 両大震災の写真 地震直後の写真と復興後の写真 ふりかえりシート
ふりかえり 10分	ふりかえりをする		
3日目 10月14日 (水) 10:00~10:30 (30分)			
活動4 25分	地震の時に聞く言葉を聞いてみる 地震の時に聞く言葉を確認する	前回のふりかえり 緊急地震速報をよく聞いて、その中の言葉を取り出してみる 他に地震の時によく耳に入る言葉 エレベーターの中で起きたらどうする 外を歩いている時はどうする	地震関連の写真(前回のふりかえり用) 言葉メモ 緊急地震速報の音源 携帯用地震速報の音源 初級用のイラスト 地震時の行動イラスト 写真(エレベーターボタン) ふりかえりシート
ふりかえり 5分	外出中に地震がおきたらどうするか確認する	聞き取った速報を発表する	
4日目 10月21日 (水) 10:00~11:30 (90分)			
活動5 25分	講座『地震がおきたらどうしますか』ポラネットなか 地震が起きた時どうするかを確認する	1.地震の動画を見て怖さを感じとる 2.スライドを見て、地震が起きる前と起きた後で、自分ができていることを考える 震災時、身近なもので役立つ物を作る 1.支援者と一緒に『ゴミ袋でカッパ』を作る 2.支援者と一緒に『キッチンペーパーでマスク』を作る	・ふりかえり・書きこみシート ・ふりかえりシート説明用イラスト ・プロジェクター(ポラネット) ・スクリーン ・ホワイトボード ・名札(学習者用・支援者用) ・資料(学習者用・支援者用/NIC『地震がおきたらどうしますか』) ・マイク ・見学者用説明書 ・教室ボランティア用説明書 ・ハサミ ・輪ゴム(ポラネット) ・キッチンペーパー(ポラネット)
ふりかえり 5分	講座を受けてわかったことをふりかえりシートに記入する ふりかえりをする	1わからないことをポラネットの人に質問して確認する 2防災グッズを作った感想を書く	ふりかえりシート
5日目 10月28日 (水) 10:00~11:30 (90分)			
活動7	地震が起きる前にすること、起きた後ですることをカードで分けてみよう! ふりかえり	支援者と一緒に今までの事を思い出しながら地震の前と後にすることをイラストカードで分ける 分け終わったものをホワイトボードに貼って、皆で共有し、確認する 自分だけの非常持出袋を作ろう! 支援者と一緒に自分が入れたい物をイラストカードから選んで、自分用の非常持出袋を作る	・地震が起きる前にすることカード(イラストカード) ・地震が起きた後にすることカード(イラストカード) ・非常持出袋(紙製) ・非常持出袋に入れるカード(イラストカード) ・ふりかえりシート


ことばの会 地震(自然災害)について知ろう!!

活動1日目 90分
大雨になたらどうする?




自分の国での台風や大雨の話をしよう。
こうなるよ、増水を確認しました。

活動2日目 30分
自然災害をイメージしよう!




教室が休みになる場合も勉強ほぼ。
暴風・洪水・土砂崩れなど写真を見て災害を知ろう

活動3日目 30分
大きな地震の怖さを知ろう




大きな地震ではどんな事が起こるか考えよう。
地震が起きても復興していくことを確認しました。

活動5日目 90分
NIC (国際協力) 出張講座
災害ボランティアなか 講座II
「じしんがおきたらどうするか」



NIC『地震がおきたらどうするか』をもとにスライドを見ながら、ボラネットの話を聞き地震が起きる前と後で、それぞれ自分が出来ることを考えました。


活動4日目 30分
地震の時に聞く言葉を聞いて




緊急地震速報を聞いて、聞いた言葉をみんなで考えよう。
家の中や外出中に起きたらどうするかを話し合いました。

II 災害時、身近にあるもので役立つ物を作ろう

ゴミ袋でカップを作ろう / キッチンペーパーでマスクを作ろう




どちらも支援者と協力。相談しながら、楽しくカップ、マスクを作りました。
真剣です。




支援者が悩んでるのを見せてあげよう。
上には出来てご満足です。
ん、小さいけど出来た!!

III ふりかえり



わからなかったことボラネットの人に聞いて確認しました。

例1) 子どもがいる場合 どうしたらいい?
例2) 救急車で送りたいのに、けがしたらどうしたらいい?

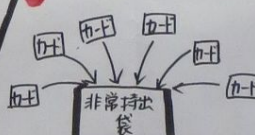


活動6日目 90分
ふりかえり


① 支援者と一緒に地震が起きる前にあること、起きた後にすることをカードで分けてみよう。

お	あ
お	あ
お	あ
お	あ

② 支援者の人と一緒に自分が入りたい物(カード)を選んで、自分だけの非常持出袋を作ろう。
使ったカードはプレゼント!!



③ カップンと缶づめパンをみんなで食べて感想を言おう



非常食の感想は? あいー!!

※ 9月23日に台風が来たため、急遽、台風について学び、9月30日につなげた。そのため、ポスターでは1日目が台風について学んだ内容になっているが活動案等には含まれていない。

1日目:10月4日(日) 15:00~17:00 (120分)			
ふりかえり 10分	復習しよう 前回 ふりかえり	1.前回の授業で学んだことをJPと話す。	○宿題シート
自己評価 10分	日本語でできるかな? 活動前 自己評価	1.現在の自分のレベルを把握するため、Can-do statementsを活用したチェックリストを用い、5段階で現状の日本語能力を自己評価する。	○ワークシート
活動1 80分	避難するときのイメージをつかもう 地震が起きたらどうなるかイメージをつかみ、基礎知識の確認	1.避難訓練について話す。 2.地震が起こるとどうなるかビデオを見る。 3.防災ガイドブックを見て、避難所までの逃げ方を話す。 4.避難場所までの地図を作る。 5.自宅と外出先の避難の仕方の違いを話す。 6.災害時に外国人が困ることと対策を話す。 7.避難に必要なものを付箋に書き発表する。 8.外国人の立場でできることをふりかえる。	○ワークシート ○仙台国際交流協会 DVD「多言語防災ビデオ 地震! その時どうする?」 ○岡崎市防災ガイドブック
自己評価 10分	日本語でできるかな? 活動後 自己評価	1 授業を受けて活動前とどれくらい評価が上がったか確認する。	○ワークシート
10分	学んだことを家で練習してみよう 次回の宿題	1.授業で学んだことばを3つあげ、宿題シートに書いて家で勉強する。	○宿題シート
2日目:10月11日(日) 15:00~17:00 (120分)			
ふりかえり 10分	復習しよう 前回ふりかえり	1.前回の授業で学んだことをJPと話す。	○宿題シート
自己評価 10分	日本語でできるかな? 活動前 自己評価	1.現在の自分のレベルを把握するため、Can-do statementsを活用したチェックリストを用い、5段階で現状の日本語能力を自己評価する。	○ワークシート
活動2 80分	避難所体験をしよう 避難所生活を疑似体験する	1.ビデオで避難所の場面を見る。 2.市職員に避難所の話を聞く。 3.簡易トイレ・非常用テントを組み立てる。 4.避難者名簿を書いてみる。 5.外国人が支援者になるために必要な体制等の要望、講義の感想等を発表する。 6.災害が発生した時のために備えることを聞く。 ふりかえり 1.普段の生活で意識できること、避難所で支援者としてできること、助けてほしいことを話す。	○ワークシート ○避難所のビデオ ○プロジェクター ○パワーポイント資料 ○非常用テント ○簡易トイレ ○毛布○A3用紙 ○避難者名簿 (多言語版)

自己評価 10分	日本語でできるかな? 活動後 自己評価	1 授業を受けて活動前とどれくらい 評価が上がったか確認する。	○ワークシート
ふりかえり 10分	学んだことを家で練習してみよう 次回の宿題	1.授業で学んだことばを3つあげ、宿題 シートに書いて家で勉強する。	○宿題シート
3日目:10月18日(日) 15:00~17:00 (120分)			
ふりかえり 10分	復習しよう	1.前回の授業で学んだことをJPと話す	○宿題シート
活動3 100分	学習したことをふりかえろう ふりかえりと 提言	1.「地震発生から避難所まで」と「避難所」 別に学習したことを話す。 2.災害に関する言葉を簡単にしてみる。 3.災害時に外国人が役に立てる事を紙に 書く。 4.グループ別に前に立って発表する。 「日本語でできるかな?」のふりかえり 1.1・2回目に行った「日本語でできますか」 をもう一度チェックする。 2.できるようになった項目、あまり変わらな かった項目を挙げ、その理由を書く。	○前々回、前回の ワークシート ○A3用紙 ○ペン
ふりかえり 10分	学んだことを家で練習してみよう 次回の宿題	1.授業で学んだことばを3つあげ、宿題 シートに書いて家で勉強する。	○宿題シート
4日目(コース全体のふりかえり) 10月25日(日) 15:00~17:00 (120分)			
ふりかえり 10分	復習しよう 前回のふりかえり	1.活動の流れを説明する。 2.前回の授業で学んだことをJPと話す。	○黒板 ○宿題シート
活動4 95分	できることの洗い出し と目標をつくろう ふりかえりと提言	1,全6回分の防災のCan-do statementsを みて、 ワークシートに記載された項目以外でで るようになったこと、できるようになると いいと思うことを話す。 2.1で話したことから新たに Can-do statements を作って紙に書き、「書く」 「読む」「聞く」「話す」「やりとり」の技能別 に壁に貼り出す。 3.ワークシートに書きだし、5段階自己評価 を付けたら、今後の目標を作る。 もっと役に立つために必要な制度は? 4.市や町内会への要望を紙に書いて発表 する。	○前々回、前回の ワークシート ○A3用紙 ○ペン
10分	成果共有	出席日数に応じて学習者に表彰状を渡 す。	○表彰状

支援に役立つ日本語教室

災害時に外国人が支援者になるための日本語教室活動



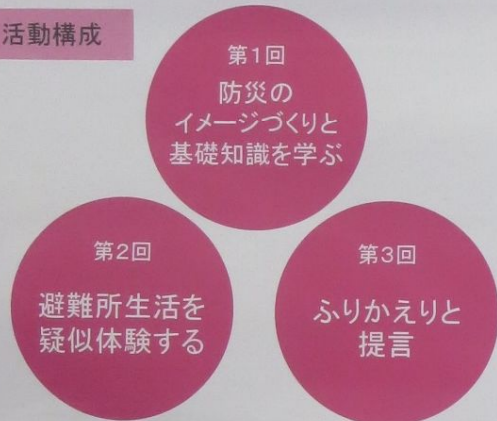
国際交流NGO
Viva おかざき！！

テーマ決めの背景とねらい

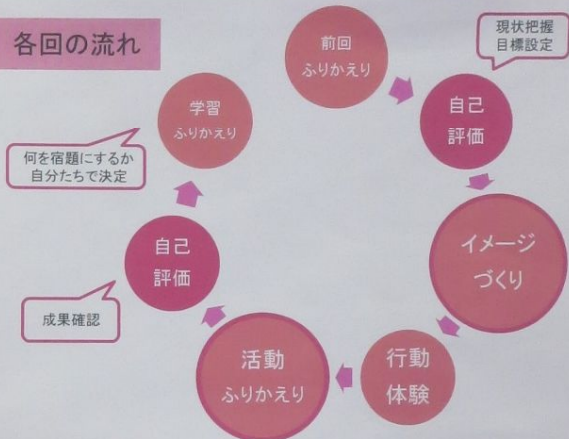
- 災害時通訳ボランティア養成講座に参加した外国人参加者
「支援する側になりたい！」
「災害の勉強がしたい！」
- 災害時に外国人も支援者になれるというイメージづくり



活動構成



各回の流れ



第1回 防災のイメージづくりと基礎知識を学ぶ



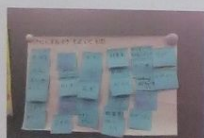
震災のビデオを見ました！地震が起きたらどうする??



Mie 県の防災が이드ブックで学びました!



「自宅より外出先では避難方法が違うんだ！」



避難に必要なものをまとめてみました!

第2回 避難生活を疑似体験する



防災危機管理課職員に避難所はどこなのか話を聞きました！日本の避難所は無料なんだ！びっくり!!



仮設テント・簡易トイレを組み立てました！床が硬くて寝にくいな...



避難所に行かなくても済むようにするには？普段からの備えが大切!



避難所名簿を書きました！世界って何??



外国人が支援者になるための必要な練習は? やさしい日本語「書簡」にふりがなが欲しい!

第3回 ふりかえりと提言



1日目・2日目で学んだことを日本語パートナーと復習します。内容復習がこんなに楽しいですね!!



災害に関する単語は難しい表現が少なくていい! やさしい日本語に書くワークをしました!!



外国人が支援できることを書きます。みんなの前で発表しました!



こちらは取説通訳さん。さすが日本語をイメージさせてくれます!



緊張しましたが、みんなの発表を聞き、自分にもできることがあることがわかりました!

成果と課題

- 学習者の声「とてもためになる授業」
→ 講師・日本語パートナーがとても親切に教えてくれ、多くの日本語表現を学び、話すことのできる授業。継続希望。
- 実際の声から活動を設定→ 受講者の7割が出席率8割超
- 次につなげる活動の必要性
「外国人もボランティアをする機会が欲しい！」
→ 日本人も参加する災害ボランティアコーディネーター研修に参加できないか打診中
- 外国人の声を市役所に伝える必要性
→ 書類のふりがな、絵や写真を多用した説明、専門的知識の「やさしい日本語」化
- 学習者の災害に関する事前知識の把握



2015年度文化庁委託
「生活者としての外国人」のための日本語教育事業
「使える」日本語を学ぶ！

活動事例集2015

2016年3月

発行：公益財団法人 愛知県国際交流協会

〒460-0001

名古屋市中区三の丸2-6-1

TEL:052-961-8746 FAX:052-961-8045

Eメール:koryu@aia.pref.aichi.jp

URL:<http://www2.aia.pref.aichi.jp>

印刷：駒田印刷株式会社